

鳥取市 覚寺 荒田池・切立池 ため池ハザードマップ 被害想定区域と避難場所

このハザードマップは、覚寺地区にある荒田池・切立池が決壊し、全ての貯水量が一度に流出した場合を想定しています。

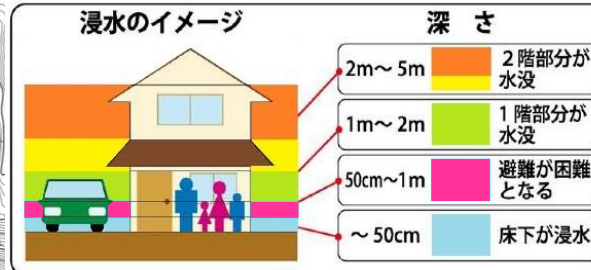
(集落への到達時間は、25～35分後)

- ・この浸水想定区域等は、浸水の状況をシミュレーションにより求めたものです。
- ・このシミュレーションの実施に当たっては、想定を超える降雨、内水のはん濫等を考慮していませんので、この浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

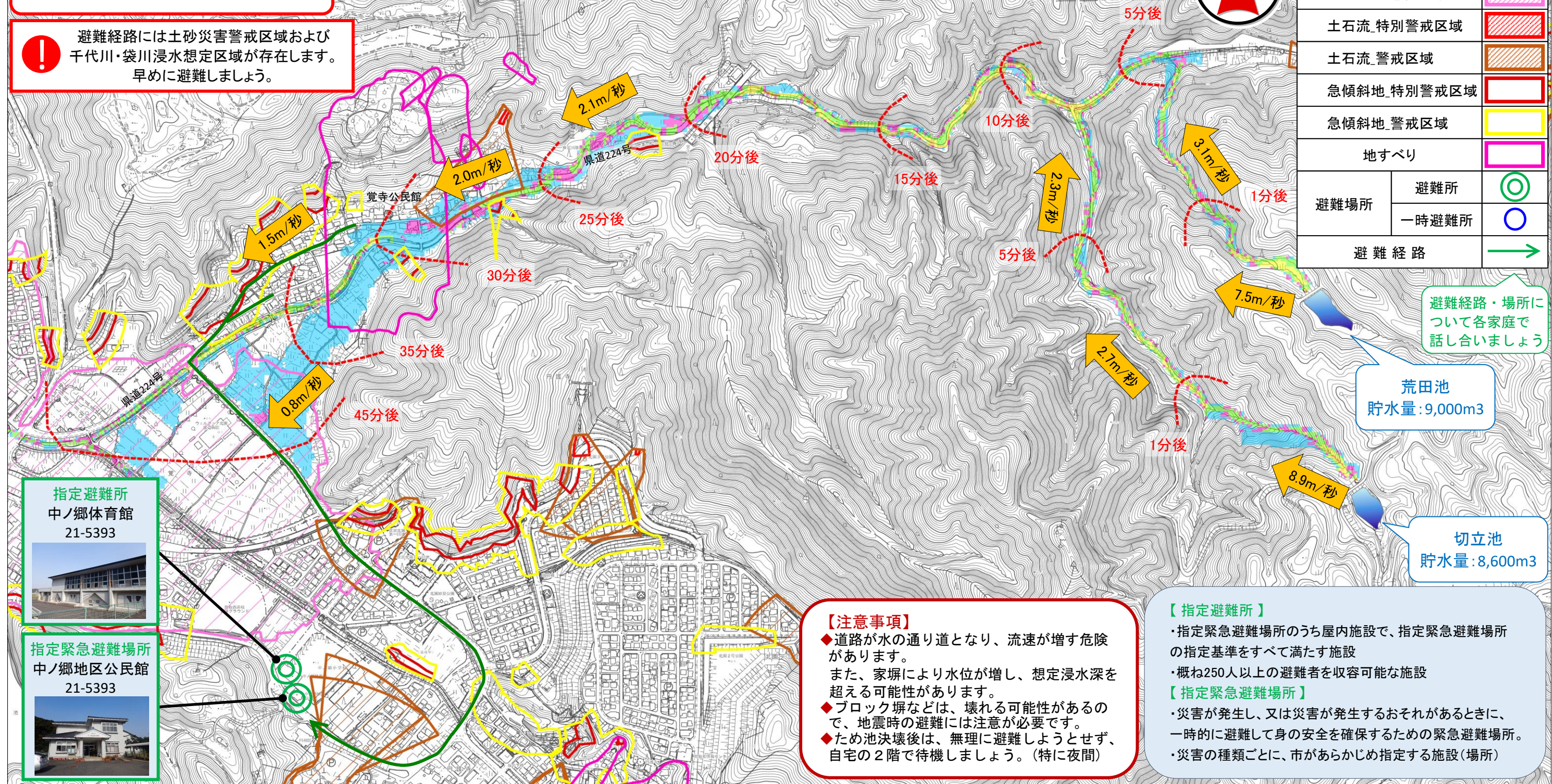
★避難のタイミング★

○大雨時：避難指示が発令されたとき

避難経路には土砂災害警戒区域および千代川・袋川浸水想定区域が存在します。早めに避難しましょう。



凡 例	
ため池決壊時の 想定浸水深	0.5m未満
	0.5m～1m
	1m～2m
	2m～3m
	3m～5m
	5m以上
流 速	
河川氾濫想定区域	
土石流_特別警戒区域	
土石流_警戒区域	
急傾斜地_特別警戒区域	
急傾斜地_警戒区域	
地すべり	
避難場所	避難所
	一時避難所
避難経路	



【注意事項】

- ◆道路が水の通り道となり、流速が増す危険があります。また、家塀により水位が増し、想定浸水深を超える可能性があります。
- ◆ブロック塀などは、壊れる可能性があるため、地震時の避難には注意が必要です。
- ◆ため池決壊後は、無理に避難しようとせず、自宅の2階で待機しましょう。(特に夜間)

【指定避難所】

- ・指定緊急避難場所のうち屋内施設で、指定緊急避難場所の指定基準をすべて満たす施設
- ・概ね250人以上の避難者を収容可能な施設

【指定緊急避難場所】

- ・災害が発生し、又は災害が発生するおそれがあるときに、一時的に避難して身の安全を確保するための緊急避難場所。
- ・災害の種類ごとに、市があらかじめ指定する施設(場所)

歩行困難度判定図

雨量の目安

10mm/時間以上

- 雨の音で、話し声がよく聞き取れない。



20mm/時間以上

- フィバーを速く動かしても見づらい。
- 側溝や下水、小さな川があふれる。



30mm/時間以上

- 山崩れ、がけ崩れが起きやすくなる。
- 山沿いでは、避難の準備が必要。



50mm/時間以上

- マンホールから水が噴出する。
- 土石流が起こりやすく、多くの災害が発生するおそれがある。

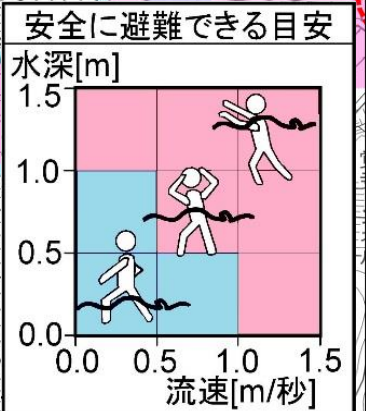


80mm/時間以上

- 雨による大規模な災害の発生するおそれがある。
- 厳重な警戒が必要。



ピンク色の箇所は歩行が困難となる危険があります。



①、②がけ崩れの危険があります。

- こんな前触れに注意 —
- ・ひびわれが入り、大きくなる
- ・小石が落ちる
- ・木が傾いたり、倒れたりする
- ・わき水が増える、あるいは止まる

①土石流の危険があります。

- こんな前触れに注意 —
- ・山鳴りがする
- ・急に川の流が濁り、流木が混ざっている
- ・雨が降り続けているのに川の水位が下がる
- ・土の腐った匂いがする

①、②地すべりの危険があります。

- こんな前触れに注意 —
- ・地すべり地面のひび割れや陥没
- ・亀裂や段差が発生する
- ・がけや斜面から水が噴き出す
- ・井戸や沢の水が濁る
- ・地鳴りや山鳴りがする
- ・樹木が傾く

【わが家メモ】

家族と話したことをメモしておきましょう。

★避難場所

- ・自宅の二階に避難！

★緊急連絡先・安否確認方法



大雨時、水路が溢れる恐れがあります。注意して避難しましょう

25分後

30分後

35分後

45分後

指定避難所
中ノ郷体育館
21-5393



約1.0km先

指定緊急避難場所
中ノ郷地区公民館
21-5393

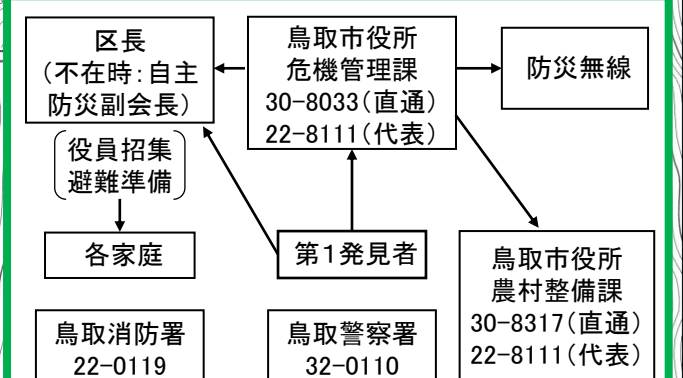


約1.0km先

避難経路・場所について各家庭で話し合しましょう

凡 例	
流 速	00m/秒
河川氾濫想定区域	
土石流_特別警戒区域	
土石流_警戒区域	
急傾斜地_特別警戒区域	
急傾斜地_警戒区域	
地すべり	
避難場所	避難所
	一時避難所
避難経路	

連絡体制



非常持ち出し品チェックリスト

☐ 水、給水袋(給水車用)	☐ 情報確認手段(ラジオ、充電器等)
☐ 食料品(サブリ、菓子類)	☐ 日用品(懐中電灯、軍手、毛布等)
☐ 調理器具(缶切、ラップ等)	☐ 衣類等(雨合羽、長靴、下着等)
☐ 清潔品(歯ブラシ等)	☐ 筆記用具(緊急時の連絡先)
☐ 薬・救急用品	☐ 貴重品・書類(保険証の写し)